26.6

和がさ

会度のし

般年そまのり

計一中た会催

は計もはいま

本算要件付

方でなで議

のうはま議

べ。昭す決

しもあさ

ょのりれ

予般で事にさ三算算会最件おれ月を 予般で事にさ

基予重33てし日決

--- 50

で

わ例

議開は度

た かす

会年

十議

らる

四第

日 —

間回

に定

予

れこた議新

354,197

増減比較 増減比較 (△日滅) 本年度予算 会 計 名 前年度予算 一般会計 -1.080,000 770.000 310,000 40.3% 国保事業勘定特別会計 249,656 282,279 $\triangle 32.623$ $\triangle 11.6$ 診療施設勘定 特別会計 34.497 27125 7.372 27.2 簡易水道事業特別会計 279808 216475 6 3.33 3 2 9.3 農業共済事業 特 別 会 計 41,494 35,379 17.3 6.115

1,331,258

政 情

編計 四の予成画昭 千大 定 た 基 50 金き、過の年度松 L と、簡単なので、地域に代町一切ので、地域に 振興計 画子 算 町の編 財 成 政 計 当 画 9 とを **** **** **** 整し な町が総 合 6

_ 計 億 費 千 民画 2 総五 O要れ万巾さた基50望た円なれしき年 要れ 額百 一六 新 延るま 0012 答 規統び一 億 万 Ź 事 合 千とる 業中 たの学簡 円財め若校易約 で政 、 千建水六 調経の 設 道 億 成整常繰試事八 い 基 的 延 算 業 千 金経べ五の万 の費縮億最円 ま取を少八終に 極は千試対 i) たく力や万算し 重 切む円に りをのよ物 四つ得 二る価 千めな大概の か事算上 万 円町っ業工昇 を債たを事 一が控費人 え八件

会 計 億 円 を こえ

円

前 多千ら 度比較40

型五 百 ・事簡がと給 やが保 千 四特業易 で額 社 事 な 下 予 四四 別17水診算の高会業 た · 道療出減額 3 事施 (額療 万 保勘 百 会 計 険 九 千を多業設な昭養に会別 ŧ 万円合 29 勘ど和費加計会し度お せ 各 定 で 49 · 入が 計 干 て々るで減年老適 12 前十の多は額 度人法 上年六增 27 さの医化 ま度億で農・れ実療し者で 事 *業2ま 績費たのは わを八 る三千一共多しを 等 ح 大億五般済 こたも支 と族国

会

1.6 85.4 5 5

生

◎
民 2. 1. 万 児八千 老 童 千円人費 手円 支 庫 当 う 療 一千 ち費 国 扶 六一六 庫 助 支三出千 四千九 万二三五〇万 三二千三 至百六 円 万 九 円 五万

合 計

円う

県 国

出支

b

上万れ ま円 わでい たのり 予で 算 額総 を額 40 十 億 • 3 八

BJ ---六 万 〇円開五 円 支ン

林道開 一万 万 ・円 Ш 下 千老 円

七 万事第八三 五円 の八町 他万债県 七円四支山 〇二五出一 万県〇一海 円支万 出

7.

万 円国県 道 事 負 担 金 ---千 Ŧi. 0 0

0

木

六 Ŧī. 道 〇八路 支維万九新 五. 設 万改 四良 千舗 円装 事 町業 債 19 四ケ 千 所

2.

道路 出持円 九費 (線改修 0 -万千 円七 そー の万 三千 他

3.

六 下 (五〇万円) 橋架換事業 七 \circ) 万円

5.

万

大

事

業六

次 (1) 頁

(C)
衛 \sim 繰 出

0 農千 林 費 一水 万 道 七特 千 別 円会

一 千 場 単 農備万 農 \circ 者〇千道五円〇道負万六開〇八月 円〇設〇町 万 五訳場 整 万農備 Щ 道補 開助

2.

一 線 千 工 〇木 八和 田 受益 万 —七 円 原 整 受七 地 益 〇区担 農三・〇Ⅱ 万 負 円 道 二 町 万 蓬 円 三 内 圃 舗九 债円平 三県装万八(二)三県装万八(二) 一出峠 〇支道 万三 万出 2

蒲 生 圃 九川場 万五三整四万千備 \equiv 千九千 万八 千六一事 円六円 千〇業 0 円万 受 万 • <u>円</u> 益円 受八 者(集 益県 者 支 担 支 負出 九出 担 ---

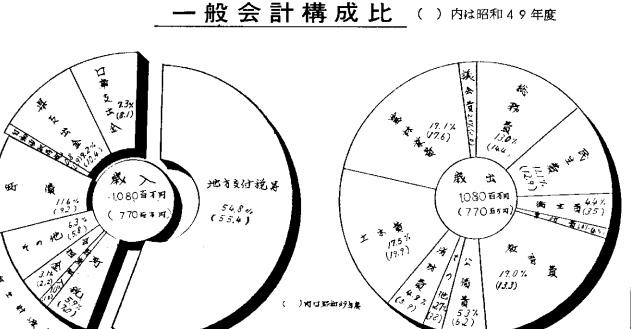
, 一 五 一 室 六 千 千 集 九 千 野 七 『 万 落 万 ヵ 設〇八発 事万県セ円 業 出夕 Ξ 1 〇建 ○設 万川 円峠 . .

印刷 松代印刷所

東頸城郡松代町公民館 館長 関 谷 1 電話 松代 301番

一般会計予算款別明細

(単位・工画)



		(単位:千円)					
	款	本年度予算額	前年度子算額	比 較			
	1.町 税	63,917	54.477	9.4 4 0			
蕨	2.地 方 譲 与 税	6,366	5,3 5 0	1.0 1 6			
	3.自動車取得税交付金	8,400	6,000	2 ,400			
	4.地 方 交 付 税	5 85, 40 0	426,660	158.740			
	5.交通安全対策特別交付金	0	0	0			
	6.分担金及び負担金	33,521	17,148	16,373			
	7.使用料及び手数料	2,706	1.810	896			
	8国庫支出金	78.894	62,889	16,005			
	9.県 支 出 金	99,335	8 0,3 3 8	18,997			
	10.財 産 収 入	1 0,6 2 3	8,160	2,463			
λ	111寄 附 金	270	1.642	△ 1.37 2			
人	12.繰 入 金	40,000	1 0,0 0 0	3 .0 ,0 0 0			
	8.国 庫 支 出 金金入 9.財 庫 支 出 収 出 10.財 産 附 入 金金 11.等 附 入 金金 11.3.繰 越 収 14.諸	9,0 2 1	14,186	△ 5. 165			
	14.諸 収 入	15,947	11840	4,107			
	┃15.町 債	1 25,600	69,500	56100			
	蒙入 合計	1.080,000	770,000	310,000			
	款 1.議 会 費	本年度予算額	前年度予算額	比 較			
	1.議 会 費 2.給 務 費	21,252	16,072	5,1 8 0			
	2.総 赘 實	140,678	11 0,888	29,790			
嵗	2.総 務 費 3.民 生 費 4.衛 生 費	119,972	9 9,3 6 3	20,609			
	4.衛 生 費	47,205	28.164	1 9,0 41			
	5.労 働 費	1 1.31 9	9,9 2 4	1.395			
	2.3.4.5.6.2.6.2.6.2.6.2.6.2.6.2.6.2.6.2.6.2.6	20 6,519	1 35,5 4 7	70,9 7 2			
	7.商 工 費 8.土 木 防 9.消 防 育 間 11.災 害 復 旧 費	2,043	1.2 6 7	776			
	8. 土 土 豊	188,843	1 5 3,5 3 4	3 5, 30 9			
	9.消 防 費	5 2,8 8 6	45,423	7,463			
出	10.教 育 費	2 05,053	102,052	103,001			
	11.災 害 復 旧 費	17,073	3,9 01	1 3,1 7 2			
	12.公 債 費 13.予 備 費	57,200	48,119	9,081			
		9,957	15,746	△ 5,789			
	合 計	1.080,000	770,000	31 0,00 0			

2. 消防団運営費一千九一万 7. 除雪ロータリー車購入・ 八五〇万円 0.消防費 0.消防費 二千三四九万五千円 二千三四九万五千円 1. 上越地区消防事務組合負 二千三四九万五千円 1. 上越地区消防事務組合負 2. 1. ②教育費 一円(町債四五千円(国本

負

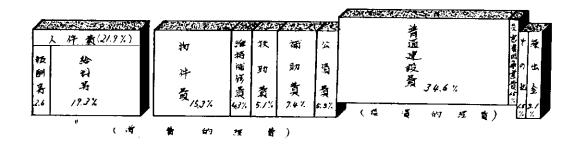
担金

路円

支盤備 プチ地 1 五造 - ル建設五二一万五〇〇万円) 六千 万円) 一万四

一千円 (機械貸機械借上 U 千一 十台

-般会計歳出性質別経費の割合



(2)

1. 🔘 0 公 万 借債 金入費千九千木復 四万六 五四設費 そ千七 の円万農 一支円設 万出《災 円二国害 四 支 復 三出旧

4.

圧池水

ポ尻管

プチ室

室年野

奈

良

立

福

ン・

2

奈

良

立

国 事業 勘 別 **숲**計

三元 元

Б.

三六万八三千一八三

千万七

7 O

円万

• Д

Щ

三万

九

اک

行

動

91

金

1. (付国支 (付国支額) (付国支額) (国養 出医 基 四療金出付 九円 〇万 千 万二 --7

を عے 四助 ι 祭万 費円 費前税 千のにの年は 一の円増し増度一千増に額ま額並世 み帯 一に当 ーた 。件しり ま四 万し万 た円 円

を 五育 百 万 円手五 を当 円額 ま ۲ ま件た八 一千 し たか 凹

◎
家

四円

施 設 勘 定 特 别 会計 省

易

水

道

事業特別

会計

万○簡 円万易 町 千 賃 円 建 一(設 五支業 子出七代二人 四千五 〇八千 万六七

1. 本円〇三 年 ケ 浄導を水度 造源実 `の 取主 水な 堰 工 と事 沈 砂 池 2

水八 代場送る地施の 連 水 池管 尻 布 第設 2 配水 水源

利 2. 1. 農 ◎共付台 **6**. 5. ◎◎単◎◎ 業共済 水済記購水円農 蚕水位家蚕 作 流消尻加 稲事 入稻 畜秋 1 稲 当畜二 末火 九業 物共済金一千四 箱1り 三〇 四病 蚕 (事業特別 三引 工栓 当以共五一 八害 二虫 事 万万り当済〇箱戸三受 44 万防 り金頭 数产対 七二 室基 ・戸一四象 三除 千千春 戸数五ア 千機 円円蚕二 会計 =0 数七 = 1 円具 地 背 <u>Б</u>. 区 ーー セル 万〇

議 z n 案

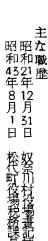
議 (議 議 で第制条報第算簡第算国第 民 非五定例酬四。 常号にの及号第水号第健号会号 ご三道 ~つーび の松い部費松号 事昭号保昭補昭 も代てを用代 業和 険和正和 特四予四 改弁町 特四 の町 别九算九 の特 正償議 別九 会年へ年 す等会 会年 報別 計度第度 計度 酬職 るにの 補松 補松七松 条関議 及の 正代号代 正代 例す員 び職 のるの 予町 予町〜町 費員

収助 入 役役 に \mathcal{O} 方 4 な Š れ ま

町三助月 役並びの定例 に会 収で 入議 役会 120 助選同 任 意 さを れ得 ま T た 次 0 の 方 が Л 月 __ 日付 C 松

和職住大 8 松年 代10 町月 松 24 代日益 生 五. \mathcal{H} オ

入 役 # 昭な 51 21 年年 10 7 47 年 4 月 月月 代12 31 1 31 町月 日日 \Box 福10 公 松拝松 松 代町 町 町 島日 1 町役場総務課長1 町役場吏員拝命 (五二**才**







昭昭な 和和職住大 4321年 年 8 12 年 8 12 1 1 年 13 松代町役場税務課長拝命奴条川村役場書記拝命

るにてを勤て部

一制条一にの一のる心一のるの九例す八例す七正手六改弁 つーー制条身○制条設号のる号のる号す当号正償 ・国定例松定例寒条関松るに 改松つ一者松つ一管民にの代にの冷例す代条関 正代い部医代い部理年つ一町つ一地のる町例す を及金い部職い部手制条職のる 改び印てを負てを当定例負型条 改のにのの定例 正支つ一特つの す給い部殊い一

改の 正処紙 す分購 正旅 す費 るに買 条関基 るに

てをしにの害しにの てを療町 す町 る公 改費老 条営 正助人 例住 す成及 の宅 るにび 制条 条関重

戶戸

七

0

戸

整一〇九意済八決別七定例の六つ一寮五つ一寮四定例療三定例二つ一一制条身〇制条設備号号号に事号定会号にの経号い部所号い部所号にの所号にの号い部号定例障号定例置 つ一職 シラ. 改務松い部員松い部松 正医代てを特代てを代 改殊町 改町 正国 正勤国 す務民 す民 る健 る手健 条康 条当康 例支保 例保

す師町 る旅国 条費民 例支健 の給康 制条保

二一同共一の特一制条業一にの診一にの診一制条診 こてを使してを勤 つっ一費 改用松 てを賦代 正料代 改課町 す及町 るび国 正徵営 す収土 条手民 るに地 例数健 条関改 の料康 制条保 例す良

に計 評町て額町 価特 及農 委別 び業 負会 賦共 委計 課済 単事 嘱農

負 ~ つ業 てを松つ北定例与松にの・松画諏町町い損松つ賦松い部の松 ※改代い山にの及代つ一給代の訪道道で害代い課代 正務団つにつつ す等負い係いい るにのてるてて

にの五廃四例す長三のる・二 つ一号止号のるの号制条任号 定例免 正町て小つ一び町い部与町策峠のの 学い部勤教てを 校てを務育 改時委 \blacksquare 正間員 代 分 す等会

次 頁

す立

る学

条校

例設

の置

町 民 の 健康 を 守

福 増 進を 义 る た め ****-

五十年度予算 か

しののま算樹らよめ町 で主しをてもるに民 、苦松の なた組 。 る本でし代健 議年きい町康 会度る財でと のも限源は福 ごせり難 祉 承いきの不の 認いめ中況増 をっ細にと進 いぱいあ物を たい施り価図 だの策な高る

致すそき予をがにた ゚゚゚゚゚゚゚゠゚ 利の 用を مح ع ど紹 協介 力申 をし お上 いま

(こ は 水地 一に

水にばは しいてま制価簡 し接正福今つももしと高易昭 た続月島年つな工た世・水和 ま奈のあく事°のイ道四 で良盆り完計し中ンエ十 え松に立にま成画かのフ事八 で代はにはすににし悪レは年 。向は若条 っ 千件不着着 ていのを況工工 着さ遅も とし . . 々されろ総同た とかはに需時松 進のあ受用に代 行狂っけ抑物町

すに松も室 『も代給野 城の水に 川現し給 の在 `水 水ので を施き秋 給設れに

いし

フ ッ ソ

多さて °歯っオ をてで 持いす ってで 7 ` {C い一九 る人七 と平 % 言均が わ土む

`りて充の在かにまむかは と、か分子まに歯子置い し健りな供す咬が供さこ 。めむ達れと るしのてに 状歯口いは 態でのなそ にお中いの なかは状わ いさ `態ず とれ半でか

あさ安出陥発い食数す七 てで流いむりれ定来い育わ物以。 あするしまてになり盛れを上現しらいのに供 `の歯すいない °るりは充のい分乳の処悪すしか五 た康か栄が *養む らそ 大の精をし 変も神と歯 なの的るで こがにこ偏 と脅もと食 でか不がに

化てて °フリ 行世こッまいが予 わ界れソすわ水防 °ゆ道の れ的ら水 成なフにこる水決 果もッよれ水にめ をのソるに道フ手 上でにう次水ッと げ先よがぐのソも て進るいもフを言 い諸ながのッ入わ ま国しあとソれれ

> すをが防 °結中歯新 成心科潟 しと学県 てな教で こっ室は のてと 運子新新 動供潟潟 をの県大 進歯歯学 めを科歯 て守医学 いる師部 ま会会予

し校す育施園指 た児が闌し児導松 でてにの代 全補実来対も町 負助施ましとで に金すし一には 実をるたフ昨 施出の・ツ年新 すしは今ソか潟 るて勿年うら大 こ町論はが町学 と内で引い内歯 に小あ続し三学 し中りきを保部 ま学ま保実育の

老人 家庭 (除雪費 援 助

助消冬増車に過の巾 成し季えをあ疎低な医 をて間てかっ化下伸学 ひひ 行いのいけてな ごど若 いた除まて まだ雪す松核人年家歩 すけの °代家口層族に °れ不こ町族のの計よ ば安れで化老都画る とをらもが齢会に平 少老老又化流よ均 除し人人とが出る寿 雪で家家れ進に出命 費も庭庭にむよ生の の解にが拍中る率大

健 を

か年今に健に四医はけざ昨 っ三年表康対人療一やれ年老 た月も彰としおを昨するか人 老三四状長松ら受年くならの 人十十と寿代れけかなど高医 の一九記を町まならりし額療 表日年念た社しか昨まて医費 彰ま四品た会たっ年し 、療が をで月をえ福 °たにた比給無 行医一贈て祉と健かが較付料 ・協れ康け ・的制に う療日り 予をかま敬議ら老て松医度な 定受らし老会の人一代療がり でけ五たので方が年町を実 すた十が日は々三間に受施又

産 国祭 康付

五一に万し 百万給円た国 円五付か場民 六千さら合健 カ円れ四に康 月にる万給保 `葬円付険 千育祭にさの 円児費、れ被 を手を死る保 一当八亡助険 カを千し産者 月一円た費が 千カか場を出 円月ら合二産

> ○議 (議 (議 歳町第歳町第歳町第冊町第職第組第き第き議 三出国三〇一三手二合二同二同第 般〇当九規八意七意二 会号組号約号を号を六 計一合 ンのご求 歳昭規新改上め収めご 入和約潟正越る入る助 歳五の県に地ぐ役こ役 へ 松 に 負 事てにいに 別代で退 務 つてつ

二予民一 ごへ康 →特五 別〇 会年 計度 歳松 入代

算共号算水号算健号)へ道 别事昭別事昭別保昭 冊業和冊業和冊險和 特五一特五 別〇 会年 計度 歳松 入代

予業三予易 別〇 会年 計度 歳松 入代

た六 しヵ ま月 し六 た千 °H 12 そ れ そ n 值 Ŀ げ V

出 稼 者 援 対

すがいり入推 ろよに定松 そいいもさ代 のろ明匹れ町 主なる適ての な施いすい出 も策出るま稼 のを稼額す収 は行をで 次っ実すこは のて現 。れ約 とおす町は六 おりるで米億 りまたはの円 ですめよ収と

地 方 新 聞 മ 型 付

本し就会 社て労の就 かいを状労 らる図況先 直職るをの 送場た伝出 しへめえ稼 ま毎 す日約安に °新十定对 潟名しし 日以た 報上明地 紙就る域 を労い社

先 懇 IJ

ての険開帰っ施り町後 講心の催郷で ゛し長の現 義得問し後関又ダ以出地 指な題では東職 | 下稼の 導ど 関業等関対生 健離春西係に係策の をそ 行れ康職秋の長よ職 いぞ管求に出がる負町を まれ理職リ稼約懇が政闘 す専のに1先二談出にき °門 問 伴 夕 職 週 会 稼 活 家題うし場間を先かそ 、失会をに毎にすれ 招出業議訪わ年行たを い稼保を問た実きめ今

榢 相 談 員 \mathcal{O}

公共職業安定所等関係 密

次機 頁関 へと

す二人労接 °名情動な の報向連 出ののけ 稼提把い 相供握の 談等 負の出と を業稼に 設務者 置をに出 し行対稼 てうす者 いたるの まめ求就

正 月 帰 省 バ ス

す図家い時 る族正帰就 たを月省労 め安をし期 正心し 月さて家中 帰せい族の ゛た と季 バ又だ一節 < 家出 と団 稼 をる 運いとら者 行就にんが し労よ楽 まをりしー

関

次雪 の費 老援 人助 福 祉 健 対康 策老 を人 実の

相し世奉 談ま話仕 。 すの る設 た置 め川 のね 奉た 仕き 負 ()

°病で人て絡要の福派人家まの述 等介派いにに身祉遣の庭すほの ょ た関生員でする。 の機相設 相関談詈 談 負団に を体応 設等じ || 置の

ま当 するり

の護遣 場す 合るひ 介入と 護がり 人居募 をなら 派いし 遺家の し庭老 まに人

老 ツ目 トね レた スき にり 補老 助人

一六人てを暮九の人金等常す急等護し連必人人を老人し彰前 健無除ら才老医をが生 ま診才康料いしま人療出購活 °払療きび化 い費り六日 分の叉五七 を保はオ十 扶険ひかオ 助給とら以 し付り六上

診人施 **奄全** ||

を員 無に 料つ でい 実て

福

液血

型液效

を型急

識査場

しを合

て実等

も施に

らしそ

いてな

ま `え

す自る

°己た

Щ

のめ

佐菅山石柳若若小若

藤井岸沢喜月月堺月

い身心を保薄障身まな障護 子に障扶険弱害 障すい害人 を障害助給者者 害 °家者派 お害者し付 `手者 庭で遣 に急川 持が扶てを精帳医 ちあ養無除神一療 派病ひ のり共料い障 遺等と 親生済にた害 二の しのり は活掛し本者級無 て場暮 自能金ま人の 介合ら 分力補す支医重化 護介し のに助 ·払療度日 に護の な乏Ⅱ い費精身 当人身 分の神体 きし心 りの体

> しこた亡金思の まの場にをい子 す掛合よ掛まの °金年りけす生 の金子 二がをそ親が 分お扶のが一 のり養親す番 一る出が夫心 を制来病な配 町度な気うに がでく又ちな

いう殊し童務を務 章 る学学ま一教養教手児 児校校す人育育育当 菫 。に終し終の福 童 就 つ了て了支 祉 に養学 き前い前給関 奨護奨 励学励 月のるのⅡ 額第者児十 係 金校費 を等日 四三に童八 支に盲 千子対をオ 給就学 円以し三未 し学校 を降て人満 まし 支の '以の すてろ 給児義上義

ガ 診ン等ッでは生し全を中環 、検にチと食活、員得予器 、 資得予器 成 子診よンれ事改事にて防検人 官のるカらと善後つ四の診病 の実活しの深指指い十たの予 検施動、予い導導でオめ実 診川と食防関川等循か、施 検施動 を希指生対係高を環ら県川対 実望導活策が血行器六医高策 施者を改とあ圧い検四師血 しに行善しり ま診オ会圧 ま胃い推てま貧すをまの すのま進 す血 。実で協脳 °検す負キの等 施の力卒

母子保 健 関

い産母先婦 ま婦子天検母 す乳保性診と の推関乳の 医進節児健 療員脱検康 費等日診を のの検、守 無訪診三る 料問、オた 化指助児め 等導産検 婦診妊 え 産 行妊

防 接 種 関

ンヒ ザ 疾 等種病 認検の液 の痘予 型検 予 防 防日の 接本た 査 種脳め を炎 実 結 施イ核 しゝ ` まフ小 すル児 ゚゙゚゙ヹマ

生

た実 し施学 まし、並 で有に虫 卵一子 者殿 に者 駆を 电対 薬 象 をに 配検 付便 いを

衛

をご 剤ハ 引み使エ住 続処用のみ き理に発よ 実で補生い い険金止境 た物をとを し処出駆作 係 ま理し除る す `まのた °しすため ° හ ' 処 の蚊 薬

戸 0 窓 口 か ら

三月 受 付 分 (受付 順

お めけ でつ ۲ うん

相沢 久 哲 夫 佐 . 々 川 木純子松! 代代 県営住 友左 エ 字:

おお めた んじょう

山岸和山野華 関谷仁美野肝 上之太志戦幸都長用 上之太志戦幸都長用 上之太志戦幸都長用 米持 佐 堺 Œ 美 幸 λ 行 Λ 広 段 段 段 **蚁蚁蚁** 和光美宝 卜秀 月正 幸幸 幸重 朗伯勝 3春3忠 雄子彦 三 長 キ幸リ吉ィ雄 子二 夏 子 光二女 三男 女 男 男 男 女 蒲 福島十二田屋 蓬 生 下 清 千 代 代 下 代 平 権 Ш きせ 奥 Ш 兵 金 村 髙 下 苧畑 庄 田 J. 八 原 \blacksquare 屋 組



ミカミヌ三正フモマ 子子ナイ次近ミンス 七六七六六八

の屋 エ

八七 一八〇九七二六七六 オオオオオオオオオ 獨室東海菅孟田蓬海 野山老刈地代平老 宮元林水左西平馬た 上エ方兵 12 た

出生 12 死亡 転出 110 転入 21

人口のうごき

(4月1日現在)

2.1 0 1 (- 8)

4.124 (-46)

4.187 (-40)

8.311 (-86)

世帯数

人口男

役場職員の異動がありました。

4月1日付で町職員の人事異動が発令されました。 町民の皆様と、仕事の上でいろいろと関係があると思 いますので、その異動をお知らせいたします。

Visigno Circo Ambierno Circo A y vi							
新	rr 4	旧 所 属					
課名 係名		氏 名		課名	係 名		
収入役室	収入役	柳	公治	税務課	課長		
総務課	課 長	島田	健司	産 業 課	課 長		
税務課	課 長	髙橋	幸平	奴奈川支所	所 長		
産業課	課 長	樋口	芳男	建設課	土木係長		
奴奈川支所	所 長	関谷幸	一郎	教育委員会	社会教育主事		
建設課		松永	勝	産業課	経済係主任		
税務課	土木係長間定資産税	若月	義一	#	用地係主任		
産業課	経済ほ	佐藤	達夫	税務課	固定資産税係		
教育委員会	社会教育課	米持	恒敏	#	,,,		
税務課	固定資産税	佐藤	徹夫	建設課	ブルトーザー 運転助手		
教育委員会	旅 務 係 国民健康保	柳	保子	社会課	運転助手国民健康保険係		
社会課		関谷を		松代保育園	保 母		
松代保育園	陳 徐 伊	山岸喜		蒲生保育園	保 母		
#	"	富沢キ		室野保育園	保 母		
社会課	国民健康保	高橋	和代				
総務課	険、保健婦 電話交換手	佐藤	晴美	"			
/MGs 422 PAT	用務員	小野島		"			
	/I 45 A	ريم رس	Д П)				
昭和50年3月31日退職		佐藤	正平	総務課	課長		
//		市川ブ		,,	用務員		
	直橋美		松代保育園	保 国民健康保険			
	川辺	7000	社会課	国民健康保険			
	室岡	一江	教育委員会	保健婦			

おて れたく Δ とくる電 こに端るめな年 こ確と線 ろめとに にては接 た、危近 て安険し ま全でて しなす鯉 i °O う電まぼ く意鯉ま °線わり のりを なをた い故り °をた さの多 いよて

不作 すくる前 。病田年原作でと は明うい 害植の因であこ 非治かま 。吹ピは 虫の早はしっろ 常以とど に来思き きョ卯 の遅ばいたたで のが昨 飛ンの 発れつろ 少のい十 ぱピ年 `のい な統ま二 く計す支 が異後ろ 当は しョで てンす でがを 主常遺あ 大は、持 因気症り 方国 も跳が 豊 "昨ち らね で的 いてウ 思に豪し はに 作寅年出 た

 \mathcal{O}

い不ギ

も景の

だ

物場管をよ法を

トりを

禁でた苗

たよ肥

農のと丈めう料

法定ら夫になや

は石えなは栽農

わも雪ょ 以や 外ト れとにう まづよが

るしの雪 °を適は 早期 期に田 すって に植植 確え時 じ・四・

の年はす

年の寅の

も不年は

日れこなき間とがだはのや去象れかうれす 播・月・ 保て期

さは平 れ前年 る年作 場のを 合寅上 がの廻 あ年る るに年

十そるき大山こた分量雪り過気みしろそでで明年のはしうでい寅でりくる 治に年 `かこ回っのす強 °い以なも翌しと復て年 い来るま年寅がし 年己と ずのの統てい豊 はのガま卯年計己程作 一年タずのが上の不だ 年はッの年余現年作と と凶と調がりわでと卯 し作落子少芳れ落なの てまちが々してちり年 なたる続上くいこ `は °きがなまむ辰必 いは 己 りいすとのず

ら伏分

う作 の辰時 い年と

かにと穂く豪にっと昨量すの学はもかで 今。は らはがを左雪なてす年もい例者 二苗先つ右地り田じと案傾かは黒年今今 十代決けさのま植播大外向らい点はか年 でるれ収すえき差多がいっの太らは °ももがくあえて極陽心一 遅例な りばお小黒配体 いり年点でど れ年い三ま てよの月す冷 `にのすう 滅りで末。害極あ周 収遅゜の る 年小た期 に年るか すれこ積

なはとら

るし定がなし し期苗豊とこた着続りた兎で当理適くを少このにけ遅ての病収ませ植かを 代う育のにれで沃た限し略最 こしな農りた栽近 ょ耕業収が培は こにたしう土は量 `カジ` と接め当 °は望のこ行省 かしにっ だめ安のな力 んず定よわ栽 `はて 、増うれ培 ` 今 始丈 ま夫一年 ん祖加なるを 荒先はやよ勘 るな日の こ苗も作 廃が勿りう違 す残論方にい とを早柄

良 若月

鯉 の ぼ ij 7

電 に 注

さは午人電り々 な次のが線ま鯉 いの節多にしの よ事句くふたぼ うにをなれがり に充迎って、を し分えて感鯉た て注るい電のて ゚ぼる だしのすけり家 さ事は°がた庭 をてが 早

よかが

てそち派 しくま省角すりを期腐となれ防弱つくおたのよたんえらし むおが しもし な六た け月苗 れはを はじ五 なめ月・ りに下

°的やにっるくか除くさ植くめ発り冷 `せえこに生も害 なる植たべしらは イこえ堆きては手いたてともが ンとて肥で増な遅も稲 `が早大低は スが 'を '収るれちは肥何期打温 夕稲要入そすべで病 *料よに撃に冷 ン作点れのるくすがいをり丈をも害 °発も多も夫与とそ 生ちく大なえづの し病や切稲るくも てやってをのいの か倒てす。育でもの

(6)

町 立 中 小 学 校

立 教 員

立 中

異

頸中 鄉中

学村学松上退校校上校之越 職長 山市 中城 西

筆

中

中中

校浜本井 小町小 小

長上 越 市 小 猿屋

越 市

若倉 髙 ミ由蒲さ 北定孟 サ雄生と徹山一地 小 日谷 市 市上 鐙片 島貝 黒 \blacksquare 小小 小

堺口 蒲 小江 町

月

小江 上 湯|校|柿 小|学| - 婚国校士 町町 柿上 崎小 小 国 小

水田 越市谷 直村 江 井 津口 小小

届 出

入出役ま出次 をの °l ての窓印てう おい職口鑑いた へとた異 でお被だ動 い保くが 健で険こあ 康く者と と く を に た た た 険さ をな にいもっき 加°っては

早た場 く方 は 届

以 出る ŧ

 $\triangle \triangle \triangle$

たき

の険

届 の

場代代 の町町 保転入 険出し をした やたとき とき

高 等学 校

5050 . . 4 3 . . 1 31

仓

H ~ フ室 サ野

吉

市

大

町

小

本斉市富本春市斉中〇 柳藤川沢柳日川藤沢配 宗充寛清貞一ヤ国利置 一代永子子枝ウ平明換 郎へ 一小松菅蓬滝松小蒲へ 北屋代刈平沢代屋生 山丸小分分分小丸小 小分)校校校一分一内)) 質校松は 校 蒲 寺) 生 蒲 莇 小 刈) 代 旧 田室小生平屋分松小任 分野 小分丸校代 校 分 校 小 校

相山中♡ 沢岸島継 洋玲ひ続 子子ろ採子子用 清桐北 水山山 小小小 . . . 頀 ##助 教

旧 任 校

北武 山吉孟 健敦松入 (上) 中上(中) 中学城長(市) 中上(上) 中学校市越校市市 (上) 中学校市市市 中頸校 大越 漨市 中古 ・城

竹 山吉孟健平郎地へ 東 谷 中

山牧 韶松次徹桐肇久 第二中)

部林

代郎へ 高田 柳中 中一

本 東 本 HT 小

要たる 日鶯 の 🖠 20 S かり るき 職 場 Ø

Δ 亡供ま活場入場がやこ しがた保のっの必め た生は護被た とれ受を保日康 きたけ受険の保 とたけ者わ険 きとな証かに きくがる入 な必証っ っ要明た 書と かき

 $\triangle \Delta$ 死 子

都 届出 \mathcal{O}

 $\triangle \triangle \triangle$ 交 世住 き通帯所 事主や 故が氏 な変名 どっが にた変 ٢ っ 1) Š た ع و け が

> 学川 |樹類||校||町 谷

村 眀 治 中

校・

正 越 市 城 西 中

佐 学 校 村

用

永小松中桑浅大瀬♡ 越川永村名野滝川 新知育净裕多裕洋規 枝彦子之子津幸子採 子 #代 小

" "代 養護 屋 丸 教 分

峠 蒲孟 小生 地 小小 俵 明 分

県立 松 代 高 等 学 校

仁出 長退 六塩白村岡職 高 校

関永本大本田小南♡ 谷田間谷間巻野学転 友夕安貞俊啓修 一ツ津子和子三 夫 〜安 事塚塩日沢根松市 務高沢町商高高大 長校商女工校校手 工子高 高高校 校校

郎 退 職

新へ

採)

用内

は

教

規

山藤武♡ 田尾石転 理 文入 \equiv 隆 雄· 中郎へへ新 ~ 保数採 英体学用 魚 塩

笹 菅三 浅小石 川井上野林川 仁美祥 惠政 ~~~ 事 (美数書英務養術学:語 · 国 髙規 小採 校採 用 用

長護 院代規

増額されました 内れ和付れい国 はま50のたる民 1 が支産険 ※ 病松新用渡新 日増給まに か額すた加 らさるは入

正 前 0

產

任意給付の支給額が

二万

祭

--- 費 万 五.

児六手 千当円 三千 円 八 Ŧ 円

調理教室の予定

月日	主 題	内 容
① _{5/15}	毎日の料理	「今晩の献立、何にしようかしら」と毎日の献立を 決めるのに頭をかかえこむことがありますね。 バランスのとれた献立をと、考えるとなかなかやっ かいです。そんなときのヒントになれば・・・・
[®] 7/15	夏に食欲をそそる献立	暑いところで働く人は疲れる割合に食欲がないのです。仕事のあとは一休みしてから食卓へ、汗をたくさんかいていますから塩分を補給するために味つけを濃いめに、ビタミンCの多い野菜や果物を忘れずにとりましよう。
3 _{8/12}	夏野菜を使った献立	胡瓜・トマト・なす・ピーマンなど夏野菜、家でとれた新鮮な野菜を使ってみましょう。 出盛りの野菜はビタミンも豊富です。夏野菜を材料 に工夫してみましょう。
4) 10/ ₁₅	手軽にできる献立	手軽にできて、しかもポリュームがあったら素敵ですれ。 忙しくて夕飯に時間をかけていられないとき、たまには手をぬいてみませんか。
⁽⁵⁾ 11 _{/18}	お弁当のおかずむき料理	それぞれの季節に応じてどこにでもある材料を使ってお弁当に適した状つが、組み合わせ調理で離れにもできるおいしい弁当のおかずを考えてみましょう。
⁶ 12/23	中国料理	みんなに親しまれている中国料理をもう一度、みんなで研究してみましょう。そして、日本料理と中国 料理の違いを話し合ってみましょう。
© _{12/23}	お正月の料理	おせち料理も近頃はだいぶ変って、お重の中は洋食 風や中国風のおせちもとりいれられているようです。 おせち料理 重詰めについて研究してみましょう。
® 1/13	家族で楽しめる献立	寒い冬は暖かい料理を家族揃っていただきましょう。 外は北風が吹いていても家の中は食卓を囲んで笑い 声が絶えません。お年寄りもこどもも好い献立を考 えてみましょう。
(9) 2/12	肉料 理	若い人に肉料理は喜ばれます。食用肉には豚肉・鶏肉・牛肉・挽肉・レバー・マトン・ラムなどがあります。 用途に応じた材料を選び、栄養的で安い肉料理を工夫してみましょう。
10 3/10	卵と乳製品を使って	卵・牛乳は埋想に近い食品です。発育ざかりのお子 様には大切な食品といえましょう。 卵料理のレパートリーをふやしてみませんか。

会年開 定員、 負度催例 募はし年 埋 集次で町 空教室、 中のお総の計り合 す。会開で開います。 締切ります 込をどうぞ 場催理 のす教の 都る室調合予を理 で定 20で本で

1日

話な ・連い 5 公 絡 万 月 र्रेट さ 気 民をが末 い軽 館おあに 電願りな 話いま 軽 いして 三三〇一章 ₽ ー で 番 番 す に ま り に り の へ届 出席 電が

松代町職工賃金 (昭50.4.1実施)ま計屋会

工事責任者賃金 1日 5,300円

臨時出勤賃金 1時間1.000円

シャッキー

1時間

加工用電動機器

延坪当 1,500円

1基1日当 300円

750円

4.8 00円

時間外賃金

機械 損料

該当者 和 昭 29 和年 30 4 年月 4 2 に月日 生1か れ日ら たま 方 て

画の工松

の改業代

参造部町

資屋ら工

料根発賃にの表金

おふさが知きれ決

かえたなった。

たど。 商 しご部工

いなたたと。

考

か職

も住さの差 ら 出され期上成町 席れて間げ人総成 できょうない。大きないできょう。まま当れない。まなり、まなりのできる人れがのできる人れがのできる人のできない。 ` 方 夕 す人でた °です方該に1月 も。ではで10 で松さ別な 発生代れる さ町町るごい前れ外に万案ま10 るに居は内す時 方居住次を『か $\bigcirc \bigcirc$

時経定所 講 間費での笹笹師 す栄川川へ 頃 ま午材 °養氏裕予 士の子定 で前料 のほ氏 九費 時経 方かへ 町 半費 を か徴 お農学 ら収 願業校 い改栄 午 す良養 を登せる 時

号番・ヘ ら名 へ申早程 `込くで 席部はお締 し落電申切 た・話込ら い氏でみせ `くて 日名 ・町だい の ○番号を 自宅の電 自宅の電 にさい。 電号を。 宅の電話○ す 番 _ያን

身軽な服装でご出席を√

印一局きいあしな日は のります。早になられましたです。 Alareです。 Alareです。 Alare 鑑等とこれ の窓口 き賞品引換 要等に号 での持を 目しでみ引にてしな換 す賞参切 。 品くり ž

おしょさえ

をだ離

t		お	年玉つき	当せ <u>ん番号</u>		自			
お忘	等級	品	名		紭	1	番	号	転
れに					<i>\$</i> 7 ∉€	#'X	6	99855	重
なっ	1	折りたたみ式自転車	各組共通		6	74166			
			A	組	2	25224	0		
て	2	腕	時	計	各組	共通	下5けた	27707	幸
いま	_	אין איז איז	A	組	下5けた	22800	運		
せ	3	封筒とグリーティン グカードのセット	各組共通	下3けた	683				
んか					023	は			
	4	お年玉切手シート	"	下2けた	8 0	?			
					48				
					39				

(8)